



岡山大学自然生命科学研究支援センター
動物資源部門鹿田施設
Newsletter

2014
Apr. 4

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

マウス飼育室の整備を行いました。

動物資源部門鹿田施設では1～3月にかけて5階バリア区域マウス飼育室1室、4階クリーン区域マウス飼育室9室へ新型飼育ラック（Ap型：陽圧型飼育ラック）を導入いたしました。本装置の導入により、收容頭数の増強、微生物汚染の防止、動物の臭気を軽減、体毛の飛散を防ぎアレルギーの発症を軽減することで、研究環境の改善が期待されます。

なお、新型飼育ラックの導入状況は下図の通りです。平成19年度から開始したマウス飼育室のオープンラック（昭和57年導入）から新型ラックへの置き換えは、今回の整備をもってひとまず完了しました。

また、併せて505マウス実験室に安全キャビネットを導入し、P2Aレベルの実験に対応しました。

施設では今後とも、利用者の皆様により良い研究環境を提供できるよう努力していきます。ご協力、ご支援の程、宜しくお願いいたします。



<写真 503 マウス飼育室に設置された新型ラック>

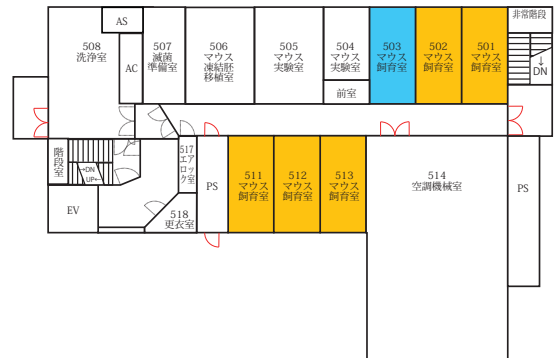


<写真 505 マウス実験室に設置された安全キャビネット>

4階平面図



5階平面図



※ 青色部分は今回の新型ラック設置箇所、オレンジ部分は過年度設置箇所を示しています。



ERにおける重症外傷に対する基本的な外科手技講習の支援を行いました。

動物資源部門鹿田施設中型動物実験室において、平成26年3月15日に医歯薬学総合研究科地域医療学講座（救急医学）主催の第4回ERフォーラムFIRSTコース—ERにおける重症外傷に対する基本的な外科手技を学ぶ！—が開催され、ERにて重症外傷に関わる救急医、外科医8名がブタを用いてのウェットラボトレーニングを行いました。本施設は獣医師である専任教員2名と技術専門職員2名が中心となり、トレーニング実施箇所の提供に加え、実験動物の受入、飼養及び保管、並びに麻酔導入を行いウェットラボトレーニングを支援しました。

平成26年度に鹿田施設の機能改善改修を実施します。

平成26年2月6日成立した平成25年度補正予算で鹿田施設のライフ・イノベーション機能強化改修の名目で予算の配分が決定されました。今回の大規模改修では、I期棟（通称、旧館 RC-3）東側の焼却設備を撤去し、ここに550m²のIII期棟（RC-3）を新営、施設規模の拡大を図ります。また、II期棟（通称、新館 RC-5）内部にエレベータを2基追加増設し、清浄物品搬入路、使用済物品搬出路、施設利用者入退出路を分離、施設内の動線を大幅に見直す予定です。さらに、以下に示す具体的な整備項目を実施し、鹿田施設の機能強化を図ります。なお、工事自体は6月頃より開始しますので、ゴールデンウィーク前後で物品の移動を行いません。ご協力のほどお願いいたします。

1. 各エリア毎に分散していた洗浄室をII期棟1Fに、部門の管理業務区域等を2Fに集約し、効率的な施設運営を図ります。
2. II期棟4F及び5F並びに3Fの一部をマウス専用区域として整備し、実験室機能を充実させるとともに、収容能力の増強を図ります。
3. ラットはII期棟3Fに集約し、マウス専用の区域と同様に実験室機能を充実させます。
4. I期棟1Fに、総延べ床面積178m²のメインウェットラボと40m²の中型動物実験室、隣接するIII期棟1Fに更衣室を備えた80m²の多目的研修講義室を整備、通常の中型動物実験に加え、技術講習会やウェットラボ等が施設で開催できるようにします。
5. I期棟2Fに培養細胞室を併設した移植実験手術室、I期棟3Fにウサギ手術室等を整備します。
6. III期棟2F、3Fはウサギ、イヌ、ブタ等の飼育室を整備し、各手術室と飼育室のアクセスを改善します。